

荒川区の隅田川：
水辺に近づきやすい緩傾斜堤に、カミソリ堤の履歴を残す



撮影：20XX年X月（ああ県・あああ）

- ◆荒川区に接する隅田川は、昭和初期までは千住大橋から上流を“荒川”と呼んでいたそうで、“荒川区”の語源に納得させられます。
- ◆尾久橋の下流右岸では「尾久の原公園」の事業と合わせて、スーパー堤防が整備されています。台東区浅草から河口部までの賑やかな風景と違って、沿川の土地利用も工場や中低層住宅も多く残されています。
- ◆墨田川の高潮堤防のカミソリ堤防から緩傾斜堤に徐々に変わりつつある中で、かつての“垂直護岸”がモニュメントとして残されています。

国土文化研究所 特任研究員 岡村幸二（JRRN会員）